

国民大運動行動報告

第074号
2022年
6月9日

「軍事費を削って、くらしと福祉・教育の充実を」
国民大運動実行委員会
〒113-8462 文京区湯島2-4-4 全労連会館内
Tel 03-5842-5611 Fax 03-5842-5620

～ 第208 通常国会 安保破棄中実委・中央社保協・国民大運動主催 6.8 定例会国会行動～

軍事費の対GDP比2%増に反対！消費税減税を！

武器より国民生活最優先の予算を！



会期末を控えた6月8日、第9回目の三者共催定例会国会行動には、農民連 藤原麻子事務局次長の司会のもと、200人を超える参加者が衆議院第2議員会館前につどいました。前日7日、岸田政権は2022年の「骨太の方針」を閣議決定しました。その内容は、自民党提言の「NATO 諸国の国防予算の対GDP比目標2%以上も念頭に」をふまえ、「防衛力を5年以内に抜本的に強化する」とする一方で「全世代型社会保障」のもとに社会保障改悪を進めるものです。参加者は、武器より国民生活最優先の予算をと、全日本民医連 宮澤洋子常駐理事の音頭で、国会に

むけて拳を高く掲げ決意を固めました。また、当日は埼玉、神奈川デーや東京土建による議員要請等に加え、東京高齢期運動連絡会による75歳以上医療費2倍化中止の決起集会も、行動後にとりくまれました。

戦争か平和か、軍事か暮らしかが問われる参院選で、審判をくだそう！



主催者を代表して挨拶をおこなった新婦人の米山淳子会長は、参院選を前に岸田政権の大軍拡と物価高騰が大きな争点になっていると強調。「物価高騰のなか、費税減税には耳も貸さず、政府の緊急経済対策は規模も内容も国民の願いに応えるものではない」と強く批判。「『骨太の方針』の、財源も示さず、かつてない大軍拡を求める異常な財政方針は、さらなる消費税増税、社会保障、教育予算の削減に直結する」と指摘。給食費値上げをさせないよう、全国での自治体要請のとりくみを報告し、「参院選では、9条改憲を許さず『軍事費を削って、くらしと福祉・教育の充実を！』の声を広げよう」とよびかけました。

憲法9条は日本の外交方針の羅針盤！くらしと営業守るために消費税減税！

国会情勢を報告した日本共産党の塩川鉄也衆議院議員は、ロシアのウクライナ侵略に乗じて大軍拡路線を進め、9条改憲を掲げることは、かえって他国の軍拡を招きさらなる緊張を高めることになるのは明らかだと指摘。さらに、「物価高騰の原因でもある異次元金融緩和への反省もなく、国民に痛みを押しつけ暮らしの実態をみていない」と日銀の黒田総裁発言を批判。日本共産党は参議院で、消費税減税とインボイス中止の法案、高齢者医療費2割化中止法案を提出したことを報告し、中小企業支援とセットの全国一律最賃1,500円など、平和と暮らしを守る政治の実現のために奮闘する決意を述べました。



日本を戦場とする軍事戦略はぜったいに許さない。9条改憲をストップさせよう！



東京革新懇の今井文夫事務局長は、憲法への危機が強まる下で、4月、5月を憲法月刊に設定し、都内100カ所で宣伝行動をおこない、5万人分の署名を集約。東京選出の衆参全議員への要請行動や衆参憲法審査会の毎回複数以上での傍聴など積み重ねてきたことを報告。その集大成としての午後からの署名提出集会への参加をよびかけました。「大軍拡路線のおおもとである米の軍事戦略によるミサイル配備など、一旦戦争が始まれば、日本はこの軍事戦略の第一線を担わされる準備が進められているという事実を国民に知らせ、世論と運動をつよめて改憲をストップさせる」と決意を語りました。

10月からの75歳以上医療費窓口負担2倍化は中止に！

日本高齢期運動連絡会の吉岡尚志代表委員は、10月から実施が狙われる75歳以上医療費2倍化は中止するべきだと訴えました。「2割化されれば今度は3割の引き上げに。75歳の次には全世代型社会保障が狙われる。年金支給開始年齢を遅らせ、保険料の負担増で給付減、年金は引き下げ高齢者になっても働かせ、医療、介護負担増の『底なし沼の社会』だ」と批判。「第二臨調以降の40年間、社会保障改悪がおこなわれ続けてきたが、大企業の内部留保の一部を国民に払い戻せば削減などしなくて済む。いまこそ、もっと怒りを！運動を広げ2倍化は中止させよう」とよびかけました。



参院選では市民と野党の共闘を前に進めるためにも、共産党の躍進を！



行動に駆けつけた日本共産党の田村智子参議院議員・副委員長は、異次元金融緩和で物価は高騰し格差はますます拡大。軍事費は『骨太の方針』で5年以内に2倍に。一方、審議中の子ども家庭庁法案では、当初2倍にするとしていた子ども関連予算は年々減り続けている。暮らしの痛みがわかっていない政治を続けていたら、日本の経済はだめになってしまう」と述べ、午後から参院選政策の発表記者会見を予定していることも併せて報告し、「要求実現のため、そして市民と野党の共闘を前に進めるためにも、共産党を躍進させていただきたい」と訴えました。

自公政権、それに追隨する勢力に未来はないことを参院選で示していこう！

中央社保協の是枝一成事務局次長は、『骨太の方針』を一言でいうと、持続可能な経済財政運営のために社会保障はさらに削るということ。削るべきは軍事費だ。憲法25条に定められた生存権、権利としての社会保障が医療や介護の保険だ。共助などではなく、政府には国民のいのち、生活を守る責任がある」と強調。「戦争する国づくりを進め国民のいのちをないがしろにする自公政権、それに追隨する勢力に未来はないことを参院選で示していこう」とよびかけて、行動提起をおこないました。



今後のとくみ日程

- ◆ 6月14日(大) 13:30~ くらしと仕事を壊すな！下げろ 消費税、インボイスは中止・延期だ 6・14 集会 日比谷野音 14:45~デモ出発 建設アクション実行委員会
- ◆ 6月17日(金) 12:30~ 福島原発事故損害賠償請求訴訟 判決前行動、14:30~判決 17:30~ 報告集会 日本教育会館一ツ橋ホール